



昭和大学病院

検索



昭和大学病院附属東病院

検索

発行 昭和大学病院、昭和大学病院附属東病院
発行責任者 昭和大学病院長 板橋 家頭夫
編集責任者 広報委員長 中村 清吾
〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8
TEL: 03-3784-8000 (代表)

90th
SHOWA University
至誠一貫 Since 1928

巻頭言

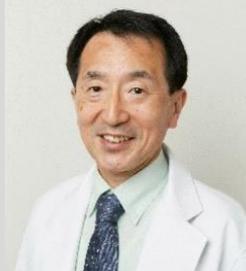
小児科 診療科長 水野 克己

医療人とは：いつも冷静に患者さんに寄り添いながら、自分のレジリエンスを育て、CQを持ちながら日々進歩していく人。

※レジリエンス：困難な状況にもかかわらず、しなやかに適応して生き延びる力

※CQ：Cultural Intelligence Quotient の略（文化の知能指数）

（国、民族、組織、世代など）多様な文化的の中で、効果的に機能する力



就任のご挨拶

このたび板橋家頭夫教授（現病院長）から歴史ある昭和大学小児科学講座を引き継がせていただき、大変身の引き締まる思いでございます。昭和大学医学部小児科学講座は、建学以来受け継がれてきた「至誠一貫」という昭和大学の理念を基盤に、昭和大学病院、藤が丘病院、横浜市北部病院、江東豊洲病院が協同して、新生児から中学生までシームレスな診療を行っております。学生・研修医教育にも力を注いでおり、さらに小児医療に関わる研究は基礎研究から臨床研究まで幅広く行っています。

歴代教授のご指導のもと各診療班の臨床・研究活動は盛んにおこなわれており、これからもさらに昭和大学小児科が発展していくよう、医局員と力を合わせてまいります。

【水野教授プロフィール】

広島県出身で広島育ち。

そのため熱狂的なカーブファンです。黒田博樹投手は大リーグでも活躍の場があったにもかかわらず、“最後の一球はカーブのために投げたい”という思いから広島カーブに帰ってきました。自分を育ててくれた球団への愛はわたしにとっての昭和大学に対する思いと通じるものを感じます。

➤ **アドボカシー**：病院だけでなく、子どもの健康を守るためには公共の場で一般社会に訴えかけることも必要です。私は、これまでも公園・図書館などで講演してきましたが、さらに広めていきたいと思っております。

※アドボカシー（advocacy）：権利擁護のこと。子供や、お年寄り、障害のある方などの生命や権利、利益を擁護して代弁すること。

➤ **診療**：子どもと家族の幸福を第一義とする医療を提供できるよう、小児科医や関連領域の医師、看護師をはじめとするメディカルスタッフとともに各々の専門性を尊重しながら有機的な連携の元に診療にあたります。成長・発達過程の子どもの診療では、疾患だけにフォーカスをあてるのではなく、子ども・家族全体に心配りをする医療が求められます。

➤ **今後の方針**：昭和大学小児科では、著明なエキスパートがそれぞれの診療班を率いており、4病院の研修を通して質の高い医療を提供するとともに、高度な教育を受けることができます。日本の小児医療をリードする小児科学講座へと発展するよう医局員一同力を合わせてまいります。どうぞご支援賜りますようお願い申し上げます。



就任のご挨拶



今年4月に昭和大学病院てんかん診療センターが新しく設立され、センター長を拝命しました小児科の加藤光広です。てんかん診療センターは、てんかん診療の進歩や患者数の増加の一方で、城南地区におけるてんかん診療拠点が不在になっていた問題を解消し、近隣住民および医療機関の利便性向上を図るため、板橋家頭夫病院長の御指導の下、小児科、脳神経外科、脳神経内科、精神神経科、看護部、薬剤部、臨床検査室との事前協議を経て設立されました。てんかん診療センター運営委員会委員長の脳神経外科水谷徹教授に御指導いただきながら活動しております。皆様、どうぞよろしくお願いたします。

てんかんの患者数は、国内で100万人前後と推定されています。新薬の登場、外科治療の進歩、遺伝的な原因の解明、新たな行政施策、診断分類の変更、高齢発症のてんかん患者の増加など、てんかんを取りまく環境はこの10年間で大きく変化しています。

てんかん診療センターは、関連部署が協同して新生児から成人までのてんかんと、てんかんが疑わしい発作症状をもつ患者さんの診療を行います。長時間ビデオ脳波同時記録による発作の捕捉や、術中脳波記録、てんかん外科治療、てんかんの遺伝相談、セカンドオピニオンなど、確かな知識と技術に基づいた先端的な医療を提供し、患者さんと御家族の抱える問題に真摯に対応してまいります。

【加藤准教授プロフィール】

3年前の2015年4月に昭和大学に異動し、横浜市北部病院、江東豊洲病院勤務を経て、現在に至っています。前任地は出身校の山形大学で生まれも育ちも山形県南部です。

小児科では神経疾患を専門とし、鳥取大学脳神経小児科、北九州市立総合療育センター、国立精神・神経センター神経研究所での研鑽のほかに、シカゴ大学に2年間留学し、主に脳形成異常とてんかんの遺伝要因解明と小児神経全般の診療に従事してきました。

てんかんの診療には、専門的な知識と経験に加え診療科の垣根を越えた連携が大切であることから、定期的にてんかんカンファレンスを行っていますので、皆様のご参加をお待ちしております。



最新のがん薬物療法を用い、「がん治療」をあらきめません

診療体制

昭和大学病院では、それぞれの臓器がんに対しても豊富な経験を有する医師が治療にあたり、さらに院内では、医師だけではなく、がん治療に専門性の高い看護師、薬剤師、栄養管理士やソーシャルワーカーがチームを組んでがん患者さんに寄り添う診療を実行しています。また、全国初の試みとなる、主にキャンサーサバイバー（がんに罹患した経験のある方）のボランティアで構成されたオンコロジーコンサルティビリティを配置し、患者さんを支援しています。このように、専門性の高いがん薬物療法は当然のことながら、患者さんに「納得していただけるがん治療」を提供することに取り組んでおります。「すべては患者さんの笑顔のため」を目指す診療体制です。

※オンコロジー（oncology）：腫瘍学。癌（がん）などの腫瘍の原因・治療などについて研究する学問分野。

特徴的な治療領域

• 臓器横断的がん薬物療法

現在のがん薬物療法は、従来の殺細胞性抗がん薬に加え分子標的薬、免疫チェックポイント阻害薬と様々な薬物療法がおこなわれるようになり、治療効果は飛躍的に進歩しています。それとともに副作用のマネジメントも複雑になり、専門的知識が必要となってきました。当科では肺がん、消化器がん、乳がんを中心に幅広いがん種に対して、効果的かつ安全ながん薬物療法を実践しています。

• がん免疫療法(免疫チェックポイント阻害剤)

がん免疫療法の一つである「免疫チェックポイント阻害剤」を用いた治療では、がんによってブレーキがかかった免疫の攻撃力を回復させる治療法です。奏効すれば、たとえ進行がんでも根治が期待できます。この免疫チェックポイント阻害剤は、現在 20 種類以上のがん種で臨床試験が進められており、メラノーマ（悪性黒色腫）や肺がん、膀胱がん、腎臓がん、胃がん、頭頸部がんに対する治療薬として、すでに保険適用がされており、その対象癌腫はどんどん広がってきています。



腫瘍内科の角田です。私達は

顔が見える病診連携を目指していきます！

腫瘍内科 診療科長：角田 卓也（Tsunoda Takuya）

趣味：温泉、旅行、読書

すべての患者さんに対する治療方針は、国内外のガイドラインを参考としたエビデンスに基づいて決定をします。「がんの疑い」、「腫瘍マーカーが上がっている」、「“がん” だけど何科に紹介してよいか分からない」場合など、お困りの患者さんがいらっしゃいましたら腫瘍内科へご紹介ください。また、各種検査にて“がんではない”と診断がついた時点で、紹介元の先生へ必ずご報告をし、病診連携にも積極的に取り組んでまいります。



今月は「1年目 看護師」のこの方をご紹介します。

① 看護師を目指した理由を教えてください。



【沖田 有純さん】

母が看護師をしていることもあり、幼少期から「病院」という場所に関わる機会が多く、自分自身も様々な病気や悩みを抱えている患者さんに携わりたいと思うようになりました。その中でも、患者さんとの関係性が深くより身近な距離で支えられる仕事がしたいと考え、大学で看護学について学び、看護師を目指しました。

② 現在はどのような業務をしていますか。

脳神経外科病棟に配属となり、検査目的の方から緊急で入院された方など様々な重症度の患者さんの受け持ちをしています。複数の患者さんを受け持ち始め、これまで学んできた知識や技術の大切さを痛感していますが、患者さんの回復する姿や日々新しいことを学び吸収できる毎日は充実しています。

③ 今後、どのような看護師を目指しますか。

患者さんに「安心して自分を任せられる」と思ってもらえるような看護師を目指します。そのためには昭和大学の建学の理念にあるよう「真心」を尽くすことで常に患者さんへの関心・配慮を大切にしていきたいと考えています。また、どんな状況下でも素早く的確に判断できる力も患者さんの安心感に繋がるので、今後も日々の学びを大切に「真心」をもって患者さんに寄り添えるよう成長していきます。



病院で使用する医療機器は安全ですか？

主に病院で医療機器を操作するのは医師・看護師ですが、学生の中に医療機器に関して学ぶ授業は、殆どありません。使用時に安全な操作を行えるよう、マニュアルも作成されていますが、患者さんと医療機器がつながっている最中、とっさの判断が求められるようなことが起こったとき、どのような安全を提供されるのでしょうか。当院には、「臨床工学技士」という国家資格を所持したスタッフが24時間常駐し、患者さんの生命に直結する医療機器に関する対応を行っています。

■臨床工学技士をご存知ですか？

現在、医療機器は、高度技術、視覚化による診断技術、遠隔での操作技術が発展し、患者さんに高度な医療を提供しやすい機器が世界中で作られています。しかし、高額であったり、複雑な操作が必要であったり、大きな病院で稀に使用されるものは、操作の質が落ちないように対策が必要なため、限られた人が操作する必要があります。一方、多くの患者さんが使用する機器も、常に同じ状態で使用出来るような安全対策が必要です。これに関しては、定期的な点検を行い質の維持を行います。これらを担っているのが臨床工学技士です。

■追記

テレビドラマで主役になることはありませんが、緊迫した現場には存在しています。

7月21日（土）昭和大学旗の台キャンパス16号館にて、

ブラックジャックセミナーを開催いたしました。

実体験を通じて医師の仕事をより良く理解してもらうことで、医療への関心を高め、将来の進路を決める際の一助となることを目的に取り組みを始め、今年で8回目となります。品川区内を中心とした小・中学生30名が参加し、村上診療科長による説明の後、実際の術衣を着用する体験を行いました。その後、およそ2時間かけて5つの模擬体験を行いました。



【当日の実施スケジュール】

- ① 内視鏡外科手術用鉗子(かんし)操作体験
- ② 手術針、糸を使った縫合、結紮(けっさつ)体験
- ③ 自動縫合器・吻合器体験
- ④ 超音波凝固切開メス体験
- ⑤ 手術シミュレーター体験



【当日の様子】



中央（左）食道外科 村上雅彦 診療科長 （右）消化器・一般外科 青木武士 診療科長

セミナー終了後、参加した子どもたちに村上診療科長より表彰状とスクラブ（術衣）が贈呈され、医師たちとともに大変にぎやかで貴重な時間を過ごしました。

消化器・一般外科 大塚講師よりコメント

今年も第8回目となるブラックジャックセミナーに約30名の子どもたちが参加して開催されました。今回は、特に熱中症に注意しなくてはならない天候でしたが、特に体調を崩す参加者もなく、みんな楽しんでおりました。昨年度の昭和大学の入試では、このブラックジャックセミナーに参加して医者になりたいと思い、受験した学生が面接にいたそうです。いつかそのなかから昭和大学の外科医になる子ども現れることを心より楽しみにしています。

開催報告

小児医療センター七夕会が開催されました

小児医療センターでは季節を感じられるいろいろなイベントを行っています。

7月6日(金)に七夕会を行いました。
七夕のお話を聞いたり、切り絵を貼って
カレンダーを作ったり、歌を歌ったりと
盛り沢山のイベントとなりました。

みなさんの笑顔が輝くすてきなひと
ときとなりました。



開催報告

七夕ライトダウンの実施報告

7月7日(土)の七夕に、昭和大学病院と昭和大学病院附属東病院で「七夕ライトダウン」を行いました。

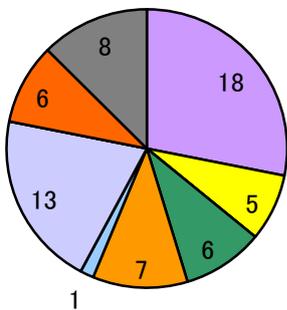
当日は、20:00~21:00の間、可能な限り電気の消費量を減らす取り組みを実施しました。この活動は、地球温暖化防止にもつながり、未来の環境をも守ります。

微力ながら、七夕ライトダウンをきっかけに意識的にCO₂削減に努めることができましたが、今後、より一層、昭和大学病院と昭和大学病院附属東病院では地球温暖化防止対策に貢献していきたいと考えています。

「七夕ライトダウン」にご協力いただいたみなさん、
ありがとうございました。

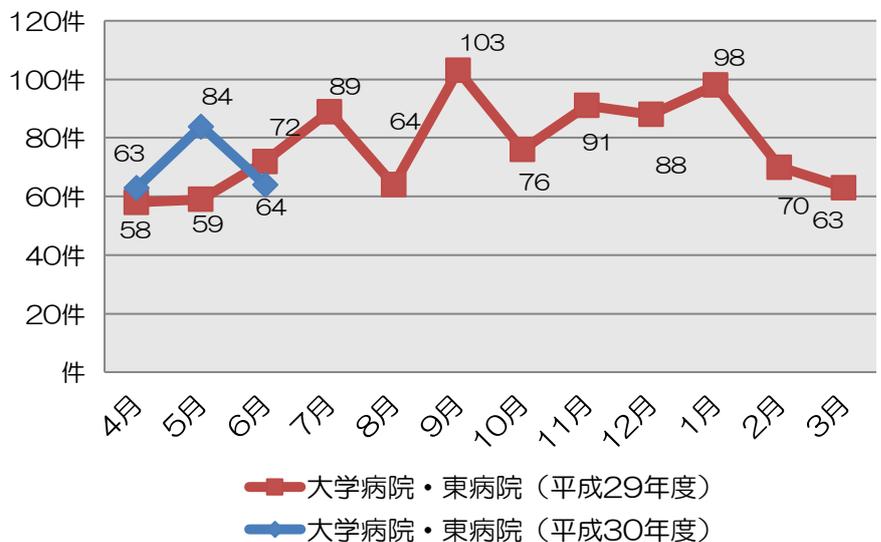
ご意見・ご要望	回答	回答部署
<p>昼食のビーフシチューのお肉が非常に固く、食べづらかったです。</p>	<p>入院中の食事で不快な思いをさせ、申し訳ありません。ビーフシチューに使っている肉の部位の変更や、スライス肉に変更することを検討し、おいしいと思ってもらえる食事作りに努めます。 貴重な意見ありがとうございました。</p>	<p>栄養科</p>
<p>エスカレーターの速さが速すぎます。もう少し遅くしてください。</p>	<p>ご不便おかけして申し訳ございません。 現在設置しているエスカレーターは速度を調整する機能がありません。今後エスカレーターを更新する際に、既存のものより遅くできるようこの度のご意見を参考にさせていただきます。 何卒、ご理解の程よろしくお願い致します。</p>	<p>管理課</p>
<p>会計時、列が多勢になっていると、足腰が痛むので並んでいただけませんか？ 何とかありませんか？ 窓口も立っているのととても辛いです。</p>	<p>立って並ぶのが困難な方は、自動支払機付近に職員がおりますので、お声掛けください。 ご理解ご協力の程、よろしくお願い致します。</p>	<p>医療課</p>
<p>患者さんを大切にしているところがいいと思います。 おばあちゃんも入院しているので、早く退院できるようにしてください！</p>	<p>心温まるご意見、ありがとうございました。看護の姿をみて評価してくださり、今後の励みに繋がります。 患者さんが、安心して退院できるように看護チームをはじめ医療チームで支援できるよう努力してまいります。</p>	<p>看護部</p>

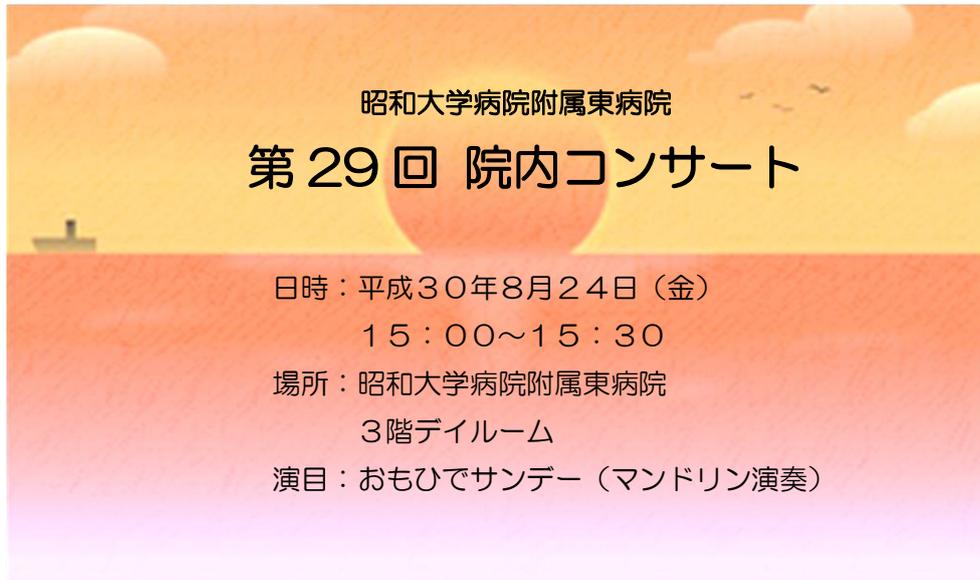
平成30年8月掲載分
ご意見・ご要望の内訳
昭和大学病院・東病院総件数 64件



- 態度・接遇
- 診療内容
- 待ち時間
- 食事
- 会計システム
- 環境 (清掃・設備備品・エレベーター)
- 感謝
- その他

平成30年度ご意見・ご要望の推移





編集後記

昭和大学病院 脳神経外科 鷺見 賢司

うだるような暑さが身に染みる季節となりました。

今年は観測史上最も早い関東甲信地方の梅雨明け宣言となりましたが、その後西日本を中心に未曾有の豪雨があり、平成最悪の被害となってしまいました。

異常気象という言葉ひとつで語り切れない惨状や、被災者の方々を想うと心が痛みます。我々にできることはといえば、被災地に思いを馳せつつも、目の前にいる患者さんにベストを尽くし、日常業務を当たり前のよう確実に一生懸命こなすこと、単純かもしれませんがそうやって復興の一助となるよう祈ることなのかもしれません。

昭和大学病院・附属東病院の理念

- 患者さん本位の医療
- 高度医療の推進
- 医療人の育成

昭和大学病院・附属東病院の基本方針

- 患者さんと共にチーム医療を実践する。
- 特定機能病院及び地域の基幹病院として高度急性期医療を推進し、質の高い医療を提供する。
- 教育病院としての機能を充実し、質の高い医療人の育成を行う。
- 人間の尊厳及び人権を守りつつ、高度な臨床研究を実践する。

ご意見・ご要望につきましては、メールアドレス：tayori@ofc.showa-u.ac.jp までお願いいたします。

病院広報委員会委員： 飯田 真由、磯飛 雄一、稲垣 克記、大嶽 浩司、五藤 哲、佐藤 久弥、白井 敦、鈴木 隆、鷺見 賢司、戸塚 るり、富田 英、中村 綾子、中村 清吾、平野 勉、吉田 仁、渡邊 聡（50音順）